

ミニダイコン新品種 『^{こぶと}小太りくん (RA243)』の 特性と栽培ポイント

雪印種苗(株)園芸作物研究グループ
野菜研究チーム 橋谷 功志

1.はじめに

昨今のミニ野菜ブームの中で、弊社も数年前より、葉っぱも根っこもまるごと美味しい『葉根っ子』を発売し、ご好評を頂いております。

今後、ミニダイコンは複数の品種を利用した周年栽培になっていくと考えられますが、特に高温期でも栽培できる耐暑性を付加させた品種が求められています。

今回ご紹介いたします『小太りくん(試作系統RA243)』は耐暑性が強く、作型拡大が可能で契約栽培・直売所・家庭菜園と幅広い場面で利用することができます。

2.『小太りくん』の特性

耐暑・耐寒・早太り性で作り易い品種です。

1) 葉

葉は耐暑性が極強い、濃緑色の小葉です。葉のアクや青臭みが少ないので葉菜類の感覚で料理して食べることが

できます。また『葉根っ子』より葉軸に「しなり」があるので、収穫や調整作業において葉の傷みが少ないです。

2) 抽苔性

耐暑性の品種としてはやや晩抽性で、べたがけを利用した早播きが可能です。

3) 根の生育

根長17~22cm、根径6.5~9.0cm、根重600~1200gに良く太ります。太り・尻詰まりが早く、根形が早い段階から決まるので、ミニサイズはもちろん、さらに小さいサイズ(根重400g)から収穫できます。適期播きでは根形が崩れず肉質も劣化しないので、通常サイズまで大きくすることも可能です。(写真1、2)

4) 根の品質と耐暑・耐病性

根形は尻詰まりが極早い、短根タイプに良く揃います。高温期でも黒芯・

赤芯症などの生理障害に極強く、す入りも遅いです。また根皮の障害にも強い方で、肌に艶があつてきれいです。

青首の色は、高温期は白首に近く、低温期は薄い青首になります。食味については、高温期は「夏の大根のストレートな辛味」ではなく「味のある辛味」になり、おろしやサラダなどに適します。肉質は低温期や高温期の収穫ではやや硬くなりますが、緻密でしまりがあり、生食・煮物どちらにも適しています。

3.『小太りくん』の適作型と栽培ポイント

1) 一般地および暖地

＜べたがけマルチ～初夏播きマルチ＞

①晩春播きではべたがけマルチ栽培を基本とし、抽苔に注意して初期の保温に努めます。



▲写真1 『小太りくん』の根形。早い段階から尻が詰まり、根形が出来上がっている。



▲写真2 収穫物は同じ根形で良く揃う

(11月16日収穫、弊社千葉研究農場)
左上段：9月15日播種9327マルチ(62日目)、
右上段：9月6日播種9327マルチ(71日目)
左下段：8月24日播種9227マルチ(84日目)、
右下段：9月6日播種9227マルチ(71日目)

「小太りくん」の適作型表

●—● : 播種期 ■ : 収穫期

地域	作型	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	栽培日数(日)	収穫物重量(g)
北海道 東北 高冷地	べたがけマルチ				●—●	●—●	■						50~60	600~800
	銀ネズ~シルバー~銀ネズ				●—●	●—●	●—●	■					50~60	600~800
	露地				●—●	●—●	●—●	■					50~60	600~800
関東以西 高冷地	べたがけマルチ			●—●	●—●	●—●	■						50~55	600~800
	マルチ			(シルバー~白黒マルチなど)	●—●	●—●	●—●	■					45~55	600~900
一般地	べたがけマルチ	●—●	●—●	●—●	●—●	●—●	■						50~55	600~800
	マルチ		(グリーン~シルバーマルチ)	●—●	●—●	●—●	●—●	■					45~60	600~900
	マルチ		(シルバー~白黒マルチ)	●—●	●—●	●—●	●—●	■					45~95	600~1200
暖地	べたがけマルチ	●—●	●—●	●—●	●—●	●—●	■						50~55	600~800
	マルチ		(グリーン~シルバーマルチ)	●—●	●—●	●—●	●—●	■					45~60	600~900
	マルチ		(シルバー~白黒マルチ)	●—●	●—●	●—●	●—●	■					45~95	600~1200

②マルチ栽培においては、銀ネズ~シルバー~白黒マルチと地温上昇に応じ使い分けします。

③初夏播きでは、白黒マルチで地温を抑えた通常株間での栽培が基本となりますが、過度の環境ストレスにさらされる場合は、生育初期~中期の乾燥によるコブ症、肥料切れ等での黒斑細菌病の発生による肥大不足に注意が必要です。

④施肥は一般には少なめで、N-P-K=9~3-15-10kg/10aが目安で遅播きになるに従って窒素を減らしてください。

＜夏~秋播きマルチ＞

①早播きでの乾燥条件の播種は、こぶ症や空洞症の心配があるので、必ず降雨を待つか充分散水してからマルチを張ってください。また、ウイルス対策としてシルバーマルチを基本とし、アブラムシ防除は早めに行ってください。

②施肥は早生品種のため控えめにしてください。N-P-K=10~2-15-10 kg/10aが目安で早播き程、窒素を減らしてください。早播きにおける多肥の収穫遅れは、根形乱れの原因となり秀品率を低下させます。

③早播きにおいては通常のダイコンより1週間ほど早く収穫できます。他品種より早出しが可能ですので、特に直売所などにご利用頂けます。

④耐寒性も十分に兼ね備えており、葉の枯れ・傷みは少ないですが、低温

期は外葉の一部が黄化し生育が鈍くなるので、肥料切れに注意し、肥大を促進して下さい。

2) 北海道および東北、高冷地

＜べたがけマルチ~マルチ~露地＞

①抽苔の心配が無くなったマルチを張り、地温が上がったのを確認してから播種作業を始めてください。

②施肥は圃場条件によりますが、や少なくともN-P-K=-5~4-15-10kg/10aが目安です。

3) 関東以西高冷地

＜べたがけマルチ~初夏播きマルチ＞

①晩春播きではべたがけマルチ栽培とし、その後はマルチ栽培となりますが、地温上昇に応じてシルバー~白黒マルチへと切り替えます。栽培注意点、施肥量などは一般地・暖地に準じます。

＜夏~晩夏播きマルチ＞

②早播きでは白黒マルチ、その後はシルバーマルチ栽培とします。栽培注意点、施肥量などは一般地・暖地に準じます。

4) 栽植密度

春播き~秋播き等の適温域栽培では密植栽培が十分可能で、9220・9327マルチ(8,333~8,547本/10a)等が使えます。極高温期・極低温期の栽培は通常株間を基本とし、肥大を促進させて下さい。

5) 葉付き出荷

適期播きにおいては、葉付き出荷が可能です。この場合は、播種時からの病虫害防除が重要で、特にシンクイムシ、コナガに注意が必要です。

6) 収穫重量

太り、尻詰まりが早く、根形が早い段階から決まるので、極小さいミニミニサイズ(根重400g)から、ミニダイコンのサイズ(同600~800g)はもちろん、適期栽培では通常ダイコンのサイズ(同1200g)まで収穫可能です。

4. むすび

作り易く美味しいミニダイコン『小太りくん』の特性をご紹介いたしましたが、ミニミニサイズから通常サイズまで収穫期間を長くとれる品種です。それだけではなく、播種期幅も広いので、家庭菜園では他品種よりお手軽に栽培でき、また直売所では他品種より早出しができるダイコンとして、特性をよくご理解いただき差別化商品としてご利用頂ければ幸いです。